

呉まちなか公共空間デザイン会議（第7回）資料

呉まちなか公共空間 基本デザイン

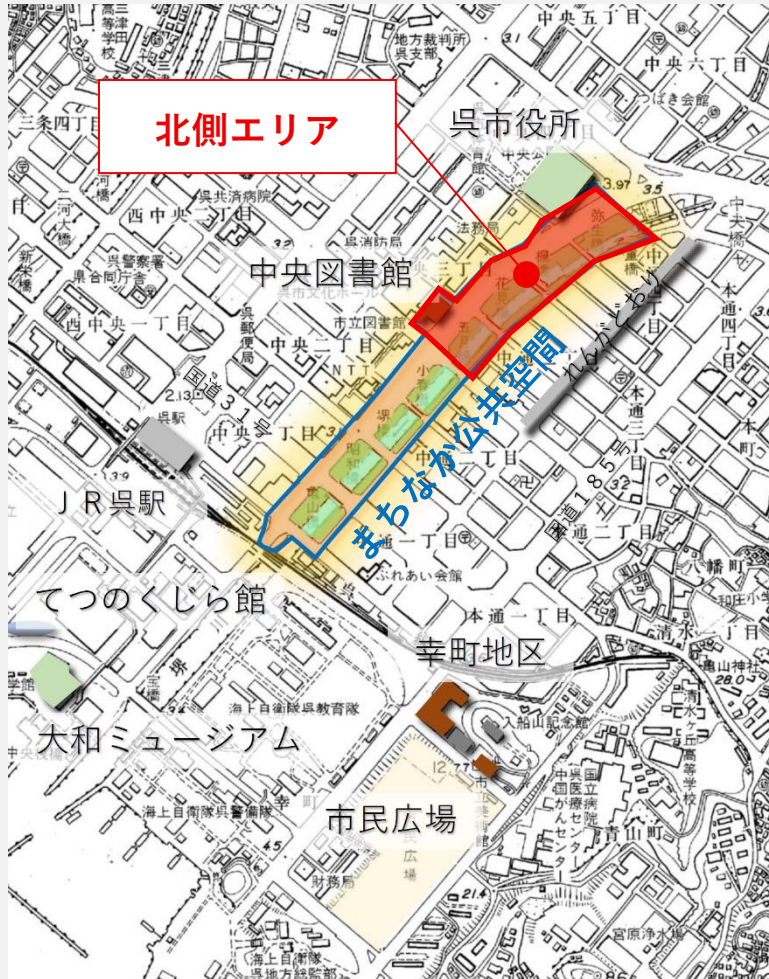
呉まちなか公共空間基本デザイン検討資料

北側エリア North Zone～Middle Zone


令和8年5月 呉市

■基本デザインの対象エリア

呉まちなか公共空間で位置付けた North Zone 及び Middle Zone の一部を含む北側エリアを対象として策定します。



■これまでの取組

令和5年10月 2日	呉まちなか公共空間デザイン会議（第1回） ・これからの公共空間の管理・運営及び整備について
令和5年12月22日	呉まちなか公共空間デザイン会議（第2回） ・呉まちなか公共空間デザイン計画の方向性について等
令和6年 4月19日	呉まちなか公共空間デザイン会議（第3回） ・呉まちなか公共空間デザイン計画（素案）について等 
令和6年8月6日～15日（書面開催）	呉まちなか公共空間デザイン会議（第4回） ・呉まちなか公共空間デザイン計画（案）、社会実験の実施等について
令和6年9月	呉まちなか公共空間デザイン計画の策定
令和6年10月11日～11月10日	呉市まちなか公共空間社会実験 OH!!GOOD KURE OURS
令和6年10月～令和7年1月（計3回）	呉市まちなか公共空間デザインワークショップ THINK the まちなか FUTURE
令和7年 7月 9日	呉まちなか公共空間デザイン会議（第5回） ・社会実験及びワークショップの結果報告等
令和8年 2月 9日	呉まちなか公共空間デザイン会議（第6回） ・基本デザインの検討等について
令和8年 5月18日	呉まちなか公共空間デザイン会議（第7回） ・基本デザインの検討等について

An aerial photograph of a public space event. The scene is a mix of paved ground and green grass. In the upper center, there's a colorful structure made of blue, red, and yellow arches. People are walking around, some sitting on the grass. To the right, there's a white canopy tent. In the lower center, there's a blue table or structure. The overall atmosphere is busy and social.

1 基本デザインの基本的な考え方

2 基本デザイン

- (1) 北側エリアのコンセプト
- (2) 空間の再構築の方針図
- (3) アクティビティとコンテンツの方針図
- (4) デザイン・設えの方針
- (5) 空間のマネジメントの方針
- (6) イメージパース

巻末資料

- (1) 呉市まちなか公共空間社会実験で得られた知見
- (2) 呉市まちなか公共空間デザインワークショップでの提案
- (3) 呉まちなか公共空間デザイン会議

1 基本デザインの基本的な考え方

1 基本デザインの基本的な考え方

基本デザインは、まちなか公共空間北側エリアの再整備及び新たな管理・運営に向け、基本的な考え方をとりまとめたもので、令和6年9月に策定した呉まちなか公共空間デザイン計画（以下「デザイン計画」といいます）に基づいて策定します。また、令和6年に実施した呉市まちなか公共空間社会実験（以下「社会実験」といいます）で得られた知見及び呉市まちなか公共空間デザインワークショップ（以下「デザインワークショップ」といいます）で提案された市民意見等を踏まえながら策定します。

呉まちなか公共空間デザイン計画（令和6年9月）

<未来ビジョン>



呉の魅力を高め、日常の暮らしを豊かに

<管理・運営及び整備に関する方針>

アクティビティとコンテンツ

どのような使い方をイメージして、どのようなモノをつくるか

空間の再構築

どのような空間・場所として空間を再構築していくか

デザイン・設え

どのようなデザインや設えで施設を整備していくか

空間のマネジメント

どのようなプロセスでつくり、どのように使っていくか

呉市まちなか公共空間社会実験

OH!! GOOD KURE OURS

令和6年10月11日（金）
～11月10日（日）

@中央公園5～8ブロック一帯



呉市まちなか公共空間デザインワークショップ

THINK the FUTURE

令和6年10月～（3回）



呉まちなか公共空間基本デザイン
(北側エリア North Zone～Middle Zone)

- (1) 北側エリアのコンセプト,
- (2) 空間の再構築の方針図,
- (3) アクティビティとコンテンツの方針図,
- (4) デザイン・設えの方針,
- (5) 空間のマネジメントの方針,
- (6) イメージパース

2 基本デザイン

2 基本デザイン

(1) 北側エリアのコンセプト

デザイン計画において示している未来ビジョンやゾーンコンセプト等を踏まえ、北側エリアのコンセプトを設定します。

わたしとまちが交わる場所

遊びや寛くつろぎ、挑戦、学び、文化・芸術活動といった暮らしの延長にある多彩な活動を柔軟に、寛容に受け容れることで、多くの人がこの場所^かで出会い、交わり、新たな価値や界隈性^かを生みながら、まちなかは次の成長に向けた機運と熟度を高めていく。

こうして、まちなか公共空間が、わたしやあなたに開かれ、わたしとまち、あなたとまち、多くの人とまちが深く交わっていくことで、暮らしの豊かさや幸せを体感し、この場所からこのまちを好きになる。

さあ、今日はここで何をしよう。



参考①未来ビジョン（呉まちなか公共空間デザイン計画）

OURS

呉の魅力を高め、日常の暮らしを豊かに

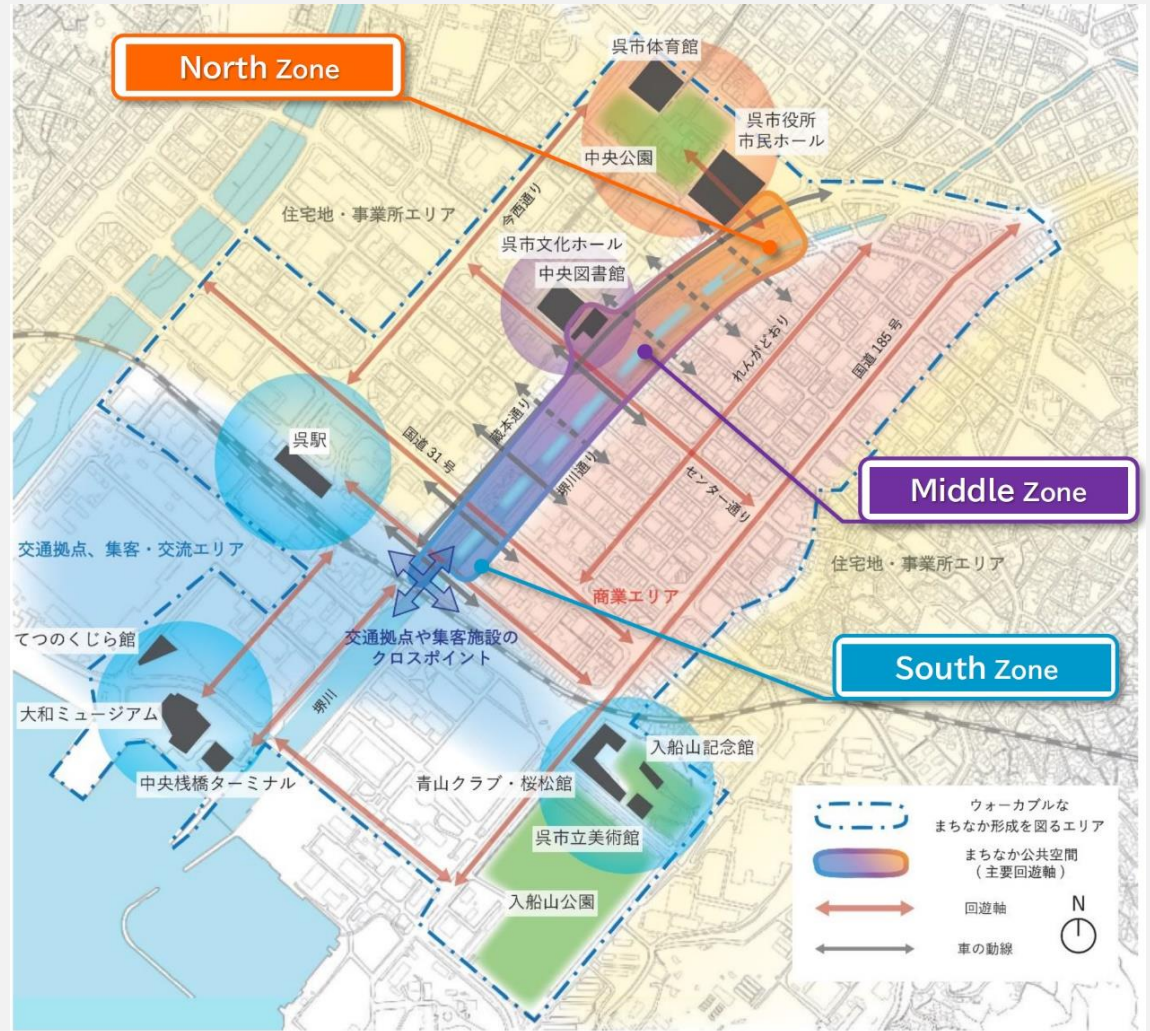
- 遊びや文化活動、チャレンジを積み重ね、サードプレイスの創出等を促進し、日常の暮らしを豊かに、Well-being を高める
- 呉の魅力を高め、エリア一帯のまちづくりを結び、互いの価値を高め合う
- 自由に集い、みんなで考え、ともに実践し、シビックプライド・地域愛を育みながら進めていく



参考②ゾーンコンセプト (呉まちなか公共空間デザイン計画)

ゾーン (仮)	ゾーンコンセプト・考え方
North Zone	市民の生活を豊かにする場として、憩いや多様な遊び、挑戦など、日常使いを中心とした機能を強化
Middle Zone	学びや文化・芸術活動を育む場として、文化・芸術活動を支援する機能を強化
South Zone	人の流れを創出する場として、呉のまちなかを訪れる人を迎える機能を強化

●周辺エリアの状況とまちなか公共空間のゾーンコンセプトのイメージ



(参考) 基本デザインにおける方針図の作成に当たって

基本デザインの策定に向け実施したデザインワークショップでの提案や社会実験の結果、呉まちなか公共空間デザイン会議での意見交換の主な内容は次のとおりです。各提案等を踏まえながら方針図を作成します。

デザインワークショップでの提案 (詳細は巻末資料を参考)



芝生やカフェのあるくつろげる空間やにぎわいのためのツリーハウス、チャレンジ広場、青空図書館などがあればいい!
(TEAM YELLOW)

パークアイテムの貸出など遊びを誘発する場や屋根付き休憩スペース、川沿いのテラス空間などがあればいい!
(TEAM GREEN)

きれいなトイレや Wi-Fi, 図書館と公園をつなぐデッキ, 図書館近くにカフェなどがあればいい!
(TEAM RED)

パークマネージャーの常駐

- ・良い取組であるとの評価が約92%
- ・新しい遊具や貸出遊具は大変有難い!
- ・週末だけでも継続してほしい!

カフェの運営

- ・カフェなどのお店を続けてほしい!
- ・子ども向けメニューもあれば嬉しい!

道路の歩行者空間化

- ・良い取組であるとの評価が約86%
- ・交通への影響はない
- ・子どもを遊ばせるのにとっても良い!
- ・弥生橋はともかく、楓橋は通行止めをしないでほしい!

社会実験での意見 (アンケート調査結果より、詳細は巻末資料を参考)



- ・8ブロック周辺では、小さな子・大きな子がそれぞれのスペースで遊べるエリアを!
- ・靴を脱いで遊べるスペースや屋根があると雨の日や暑い日などでも遊べる!
- ・コーディネーターとしてパークマネージャーを配置するべき!

- ・川沿いは人が集まる場所になり得る!
- ・図書館周辺のカフェスペースがあるとゆっくり本を楽しめる!
- ・5ブロック周辺ではアートに触れられる場があれば!
- ・夜の空間の明るさを確保するべき!

- ・飲食施設は重要で、カフェやチャレンジショップなどいろいろなやり方がある!
- ・コンベンションでの活用や普段使いできるフリースペースがあるとよい!
- ・デジタル・アナログ両方の情報発信が重要!

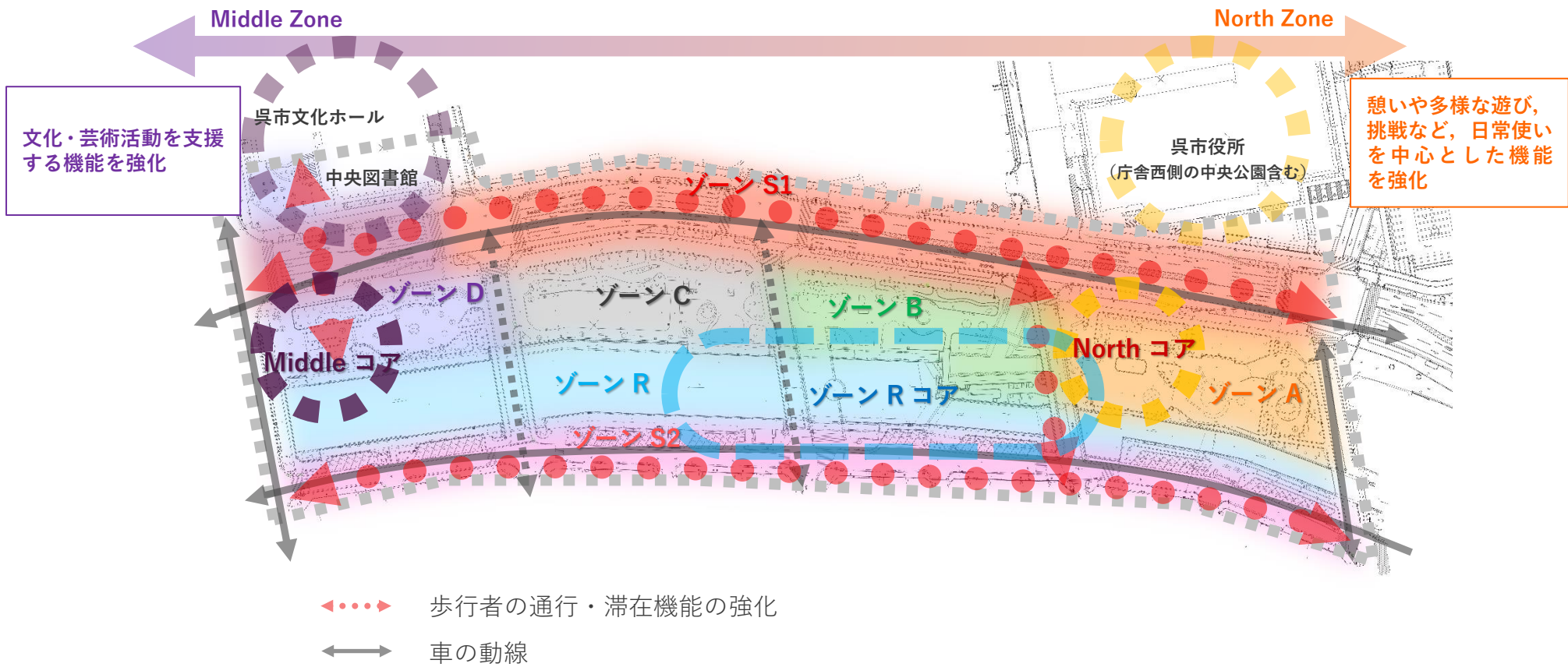
デザイン会議での意見 (詳細は巻末資料を参考)

(2) 空間の再構築の方針図

主にデザイン計画に掲げる空間の再構築に関する四つの視点を踏まえ、次のとおり空間の再構築を図ります。

- 視点① 川をまちの中心に
- 視点② 一体的な広場と見立て、空間を繋ぐ
- 視点③ ハレとケを演出する
- 視点④ ゾーンコンセプトによって命を吹き込む

【空間の再構築の方針図】



再構築の考え方は P9、また、各ゾーンのコンセプトは P10、P11 で示します。

(2)-1 再構築の考え方

ア 蔵本通り及び堺川通りの通行・滞在機能の強化

- ・ 歩道へのベンチやテーブル、クールスポット等の整備
- ・ 路面の整備
- ・ 蔵本通りにおいては特に、適切に並木を育成

● 緑陰のある道路内の滞在空間



出典：ストリートデザインガイドライン（国土交通省）

イ 空間の一体性の強化①

- ・ 植栽の配置の見直しなどによって、道路と公園空間との分断を解消し、一体性を確保

● 植栽による空間の分断



イ 空間の一体性の強化②

- ・ 弥生橋筋（市道本通4丁目2号線）の歩行者専用道路の指定による公園空間の一体化

イ 空間の一体性の強化③

- ・ 蔵本通りの路面の整備等による空間の一体性の確保

● 歩道や広場と一体感のある車道的设计（姫路市大手前通り）



イ 空間の一体性の強化④

- ・ ハレの日（イベント時等）における楓橋筋（市道本通4丁目1号線）や花見橋筋（市道本通3丁目1号線）の一時的な歩行者空間化

ウ 川沿いの滞在機能の強化

- ・ 水辺空間の機能強化を図るため水辺のゾーンを設定
- ・ 駐車場の一部を広場として整備

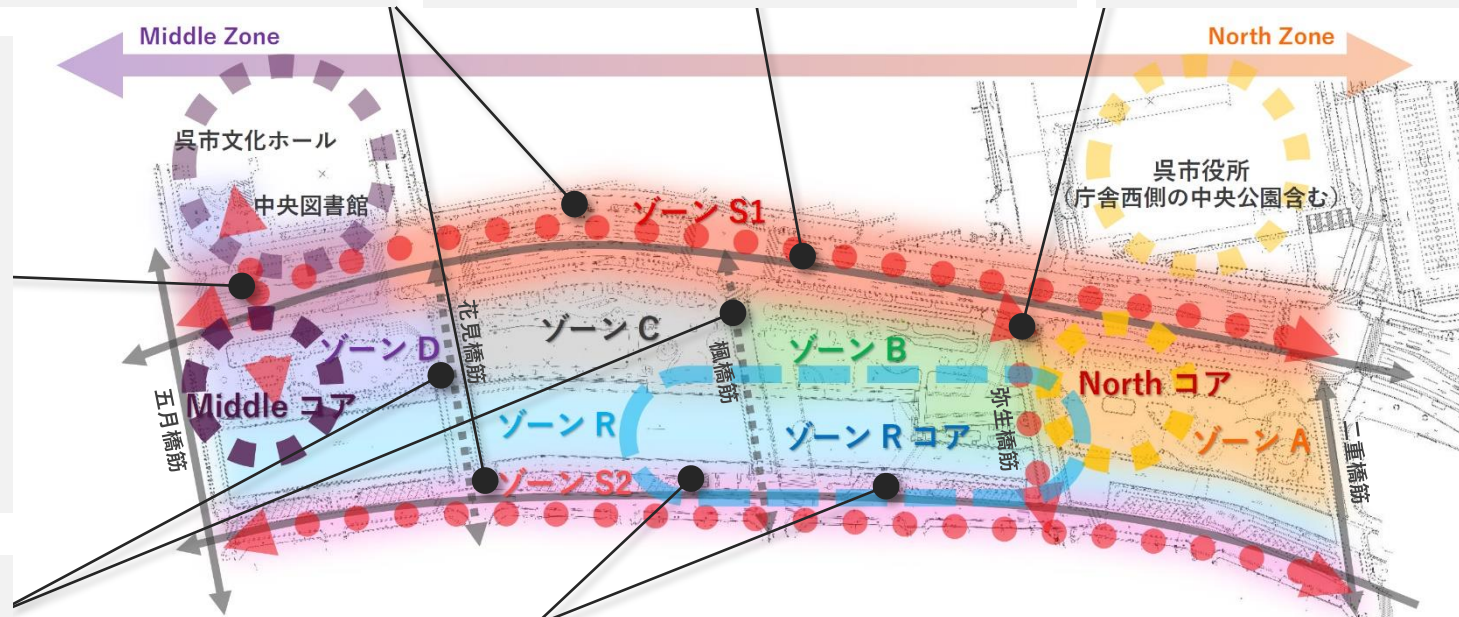
● 川沿いの滞在空間



出典：MIZBERING ホームページ（今佐和子氏・浅見知秀氏記事）

エ ゾーンコンセプトの設定

- ・ 北側エリアの各ゾーンに整備コンセプトを設定（次ページ以降参照）
- ・ North Zoneや Middle Zone の中心を担う機能を配置するコアゾーンを設定



(2)-2 各ゾーンのコンセプト

ゾーン B 冒険と憩いのゾーン

木々と川に囲まれた自然の中で、冒険心をかき立てる、また、心地よく憩う場

- ・既存の樹木と一体となったデッキ空間や冒険心をかき立てる場の導入
- ・川沿い空間などの滞在機能の強化
- ・遊びや滞在のみならず、文化・芸術活動の場として利用するなどアクティビティの多様化を図る。

●大木の残るエリア



ゾーン A 遊びと挑戦のゾーン

多様な遊びや「やってみたい」というチャレンジを誘発する場

- ・遊びやチャレンジを支援する HUB 機能（遊具貸出、フリースペース）をコア機能として配置
- ・インクルーシブ遊具や多様な遊びを誘発する貸出遊具などの導入
- ・大屋根空間やベンチ・テーブル、芝生広場など滞在機能の強化
- ・市民ホール等との連携、中央公園（庁舎西側）との役割分担

●遊び・チャレンジ

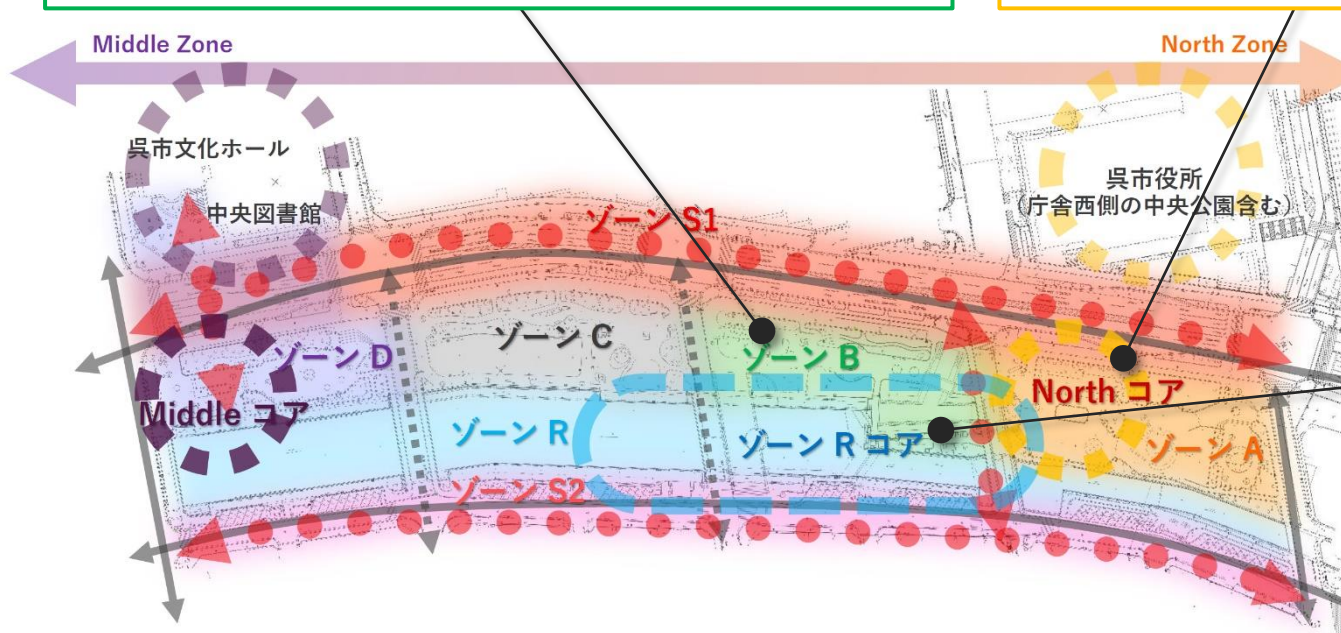


ゾーン R ミズベノバゾーン

出会いや交流、滞在を促す、まちに開かれた水辺空間

- ・水辺空間の滞在・交流機能の強化
- ・水辺空間へのアクセスや見通しの確保
- ・コアとなるエリアでは、駐車場を広場化（ハレの日の例）
- ・水辺でのマルシェや音楽会など

●水辺空間



ゾーン S1

メインストリートゾーン

JR 呉駅などからの人の流れを誘発する大通り

●ハレの日

- ・歩行者の通行機能の向上に加え、公園空間と一体となった滞在機能の強化(ハレの日の例)
- ・歩行者天国による広場化など



ゾーン D 文化・芸術、学びのゾーン

文化・芸術を生む場、触れることのできる場、学びを深める場、それを通じて創造性を育てる場

●芸術活動

- ・文化・芸術活動や学びを支援する HUB 機能(展示や活動の場)をコア機能として配置
- ・水辺の滞在機能の強化
- ・中央図書館や隣接する文化ホール(呉信用金庫ホール)との一体性や連絡の強化



ゾーン C トライアル(余白)のゾーン

地域課題の解決や新たな価値を創出するための実験・実証の場

●多様な使い方

- ・多目的広場を中心としたオープンな空間の確保(ハレの日の例)
- ・マルシェイベント等の開催
- ・仮設物でアーバンスポーツやドッグランなど使い方の検証を出来る場



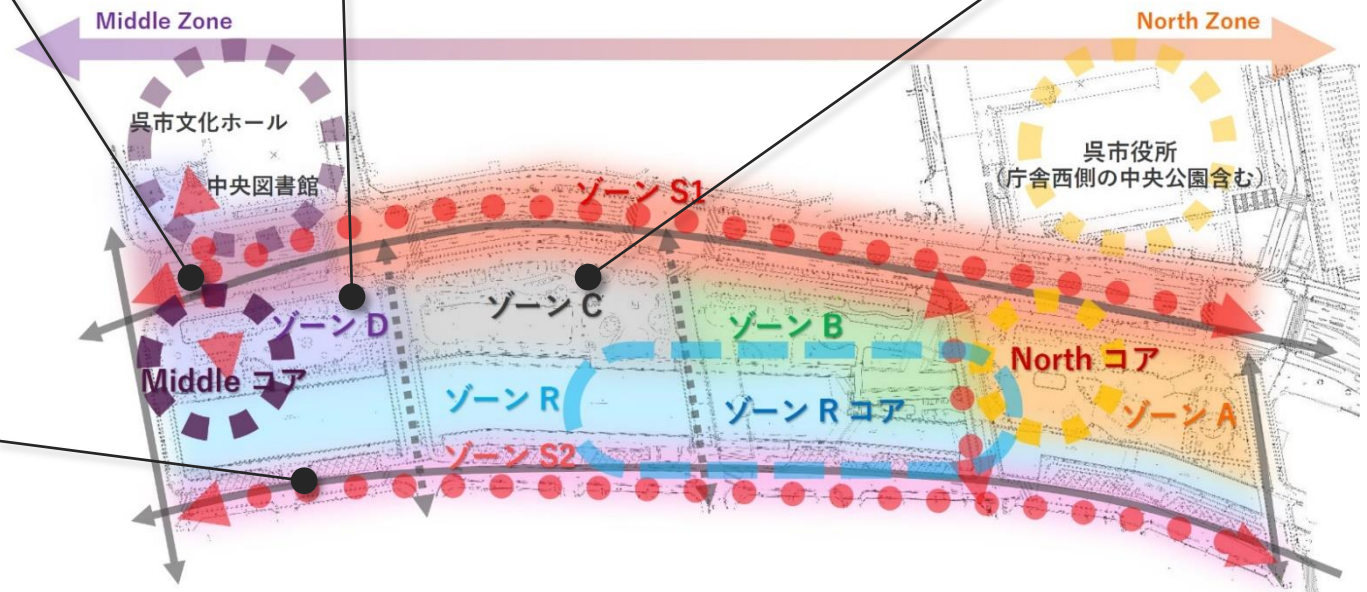
ゾーン S2

オープンストリートゾーン

商業エリアと一体となり、人の出会いや界隈性を生むオープンストリート

- ・歩行者の通行機能の向上に加え、商業地等と一体となった滞在機能の強化
- ・公園や沿道と調和する修景化

●商業地との連携
出典：サンキタ通り、
神戸市ホームページ



(3) アクティビティとコンテンツの方針図

主にデザイン計画で掲げるアクティビティとコンテンツに関する11の視点を踏まえ、次のとおり施設配置等を行います。

視点① 暑い日も、雨の日も座る、くつろぐ

視点④ 大人も子どもも本気で遊ぶ

視点⑦ みどりのチカラで誘い込まれる

視点② 自由に集い、学ぶ・働く

視点⑤ おなかを満たす・食に舌鼓を打つ

視点⑧ 夜の演出に酔い痴れる

視点⑩ 快適にアクセスする

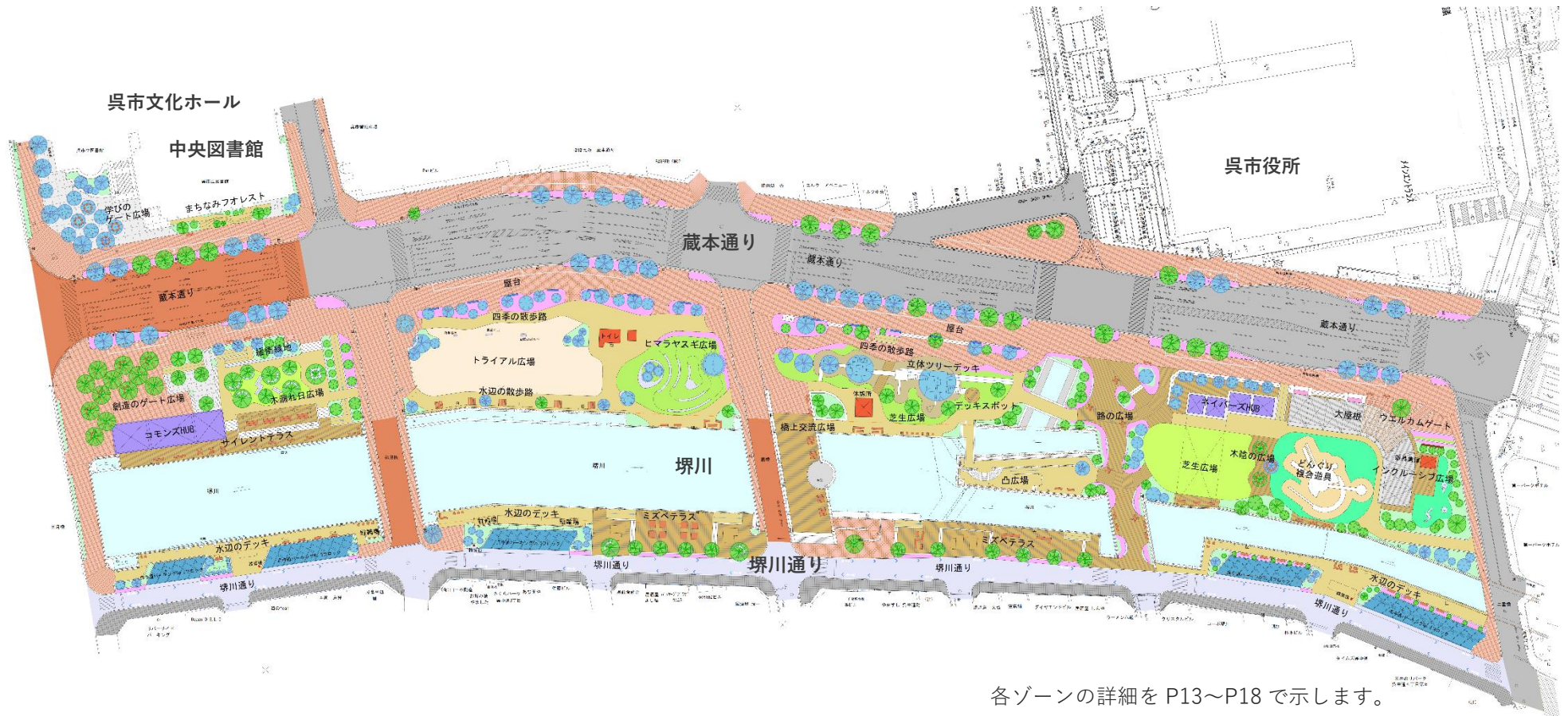
視点③ 志を持ってチャレンジする

視点⑥ 文化・芸術を体感する

視点⑨ 気の向くままに歩く

視点⑪ 世界の関心を惹きつける

【アクティビティとコンテンツの方針図（全体図）】



(3)-1 アクティビティとコンテンツの方針図

① メインストリートゾーン オープンストリートゾーン ミズベノバゾーン (ゾーンA~B一帯)

橋上の交流広場

楓橋

- ・ベンチ・テーブルの設置
- ・ラインライトやイベント対応の電源設備

●乙川かわまちづくり (岡崎市)



出典:かわまちづくりホームページ (国土交通省)

川の真ん中でくつろぐ・披露する 凸広場 (水上のステージ)

- ・日常的な滞在機能の強化 (ベンチ等の設置)
- ・親水遊具の設置
- ・対岸のミズベテラスと一体となったステージ機能

●音楽ステージ (夏至の音楽祭)



川をもっと身近な場所へ ミズベテラス

- ・デッキテラス空間 (駐車場の広場化)
- ・ベンチ・テーブルの設置
- ・植栽の配置やラインライト・イベント対応の電源設備

●水辺のイベント (水門川かわまちづくり (大垣市))



出典:かわまちづくりホームページ (国土交通省)

●デッキテラス空間



人に出会える道へ 堺川通り

- ・商店街側歩道の拡幅 (W=3.0m程度)
- ・自転車の安全確保 (矢羽根表示)
- ・沿道等と一体的な舗装の美化
- ・ほこみち制度の活用 (軒先の活用)

●サンキタ通り



出典:神戸市ホームページ

呉の夜の日常風景

屋台

- ・屋台出店スペース
- ・電気・上下水道設備

●屋台の出店



まちなか大通り

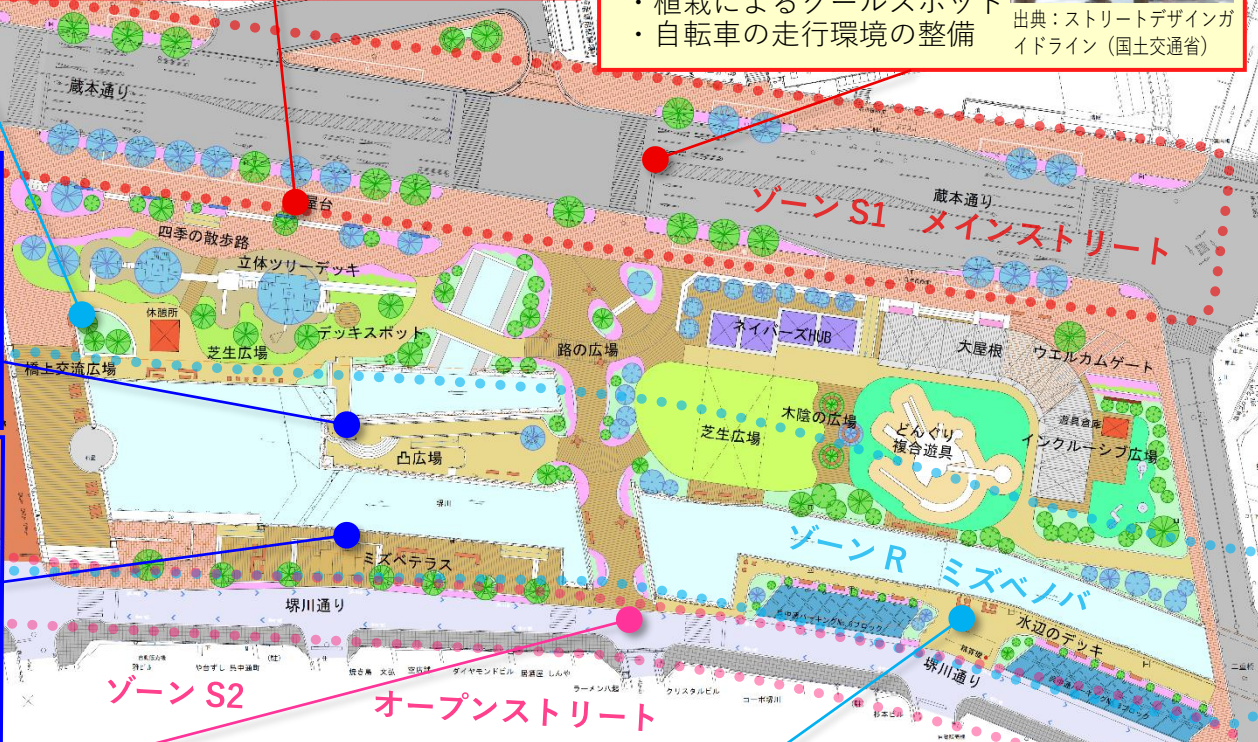
蔵本通り

- ・公園と一体的な空間整備
- ・イチョウの並木づくり
- ・ベンチ・テーブルの設置
- ・植栽によるクールスポット
- ・自転車の走行環境の整備

●道路上の休憩施設



出典:ストリートデザインガイドライン (国土交通省)



堺川沿いの滞在を促す

水辺のデッキ

- ・ベンチ・テーブル設置
- ・夜間照明
- ・見通し確保のための植栽の再配置

●川沿いの滞在 (パリ)



出典:MIZBERING ホームページ (今佐和子氏・浅見知秀氏記事)

② 遊びと挑戦ゾーン

一体的な広場空間を創出 路の広場 (弥生橋筋)

- ・市道の歩行者専用化
- ・花木や香木の植樹
- ・橋上から水辺を臨むベンチ等の設置
- ・キッチンカーの出店

●香木等の植栽



●キッチンカーの出店



自由な遊び, 憩いを 芝生広場

- ・天然芝の広場
- ・夏季は可動式の屋根や気温低下対策ミストで快適に遊べる

●芝生広場



緑の日傘で一息 木陰の広場

- ・高木による緑陰
- ・ベンチ・テーブル設置

●木陰の休憩スペース



出典: 「だれもが遊べる児童遊具広場」整備のガイドライン (東京都)

公園のシンボル「どんぐり遊具」で活動的に遊ぶ どんぐり複合遊具

- ・既設の大型遊具を残置
- ・ゴム舗装・人工芝舗装

●ゴム舗装・人工芝



出典: 富士見公園ホームページ

遊びやチャレンジを支援

ネイバース HUB (まちなか交流拠点)

- ・売店建物をリノベーション
- ・パークマネージャーの在駐 (遊び道具の貸出し等)
- ・貸出可能なフリースペース
- ・売店・軽食提供スペース
- ・組立式屋台などを収納する倉庫
- ・情報発信の拠点

●HUBのイメージ



出典 (右): シーパスパークホームページ



天候に左右されずくつろぐ

大屋根

- ・目を惹くデザインの大屋根
- ・デッキ舗装
- ・ベンチ・テーブルの設置

●大屋根



出典: 岡山市ホームページ



関心を惹きつけ, 空間内へ誘う

ウェルカムゲート

- ・シンボルとなるロゴや共通のサイン
- ・シンボルツリーや花壇
- ・空間へ誘導する舗装デザイン

●ロゴサイン



出典: 富士見公園ホームページ

誰もが遊べる

インクルーシブ広場

- ・インクルーシブ遊具の設置
- ・デッキと人工芝の空間

●インクルーシブ広場 (明治公園)



③ 冒険と憩いのゾーン

四季を通じて季節の変化を楽しめる 四季の散歩路

- 散策路
- ・ 花木・香木や紅葉樹木など
- ・ 四季を感じる植栽
- ・ 景観に調和する舗装



夏には元気に水遊び デッキスポット

- 水盤施設
- ・ 夏季以外はデッキスペース
- ・ 夏季は可動式のデッキを取り外し、水遊びができる水盤施設



出典：勝山公園ホームページ

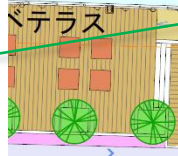
芝生の上でピクニック 芝生広場

- 芝生広場
- ・ 天然芝の広場



蔵本通りと堺川通りをつなぐ 楓橋筋

- ・ 車道の美装化



巨木を活用した憩いと遊びの空間 立体ツリーデッキ

- ツリーデッキ
- クライミング
- ・ 既存の大高木に立体デッキを整備
- ・ ベンチ・テーブルの設置
- ・ クライミングや上空移動などの自由な遊び

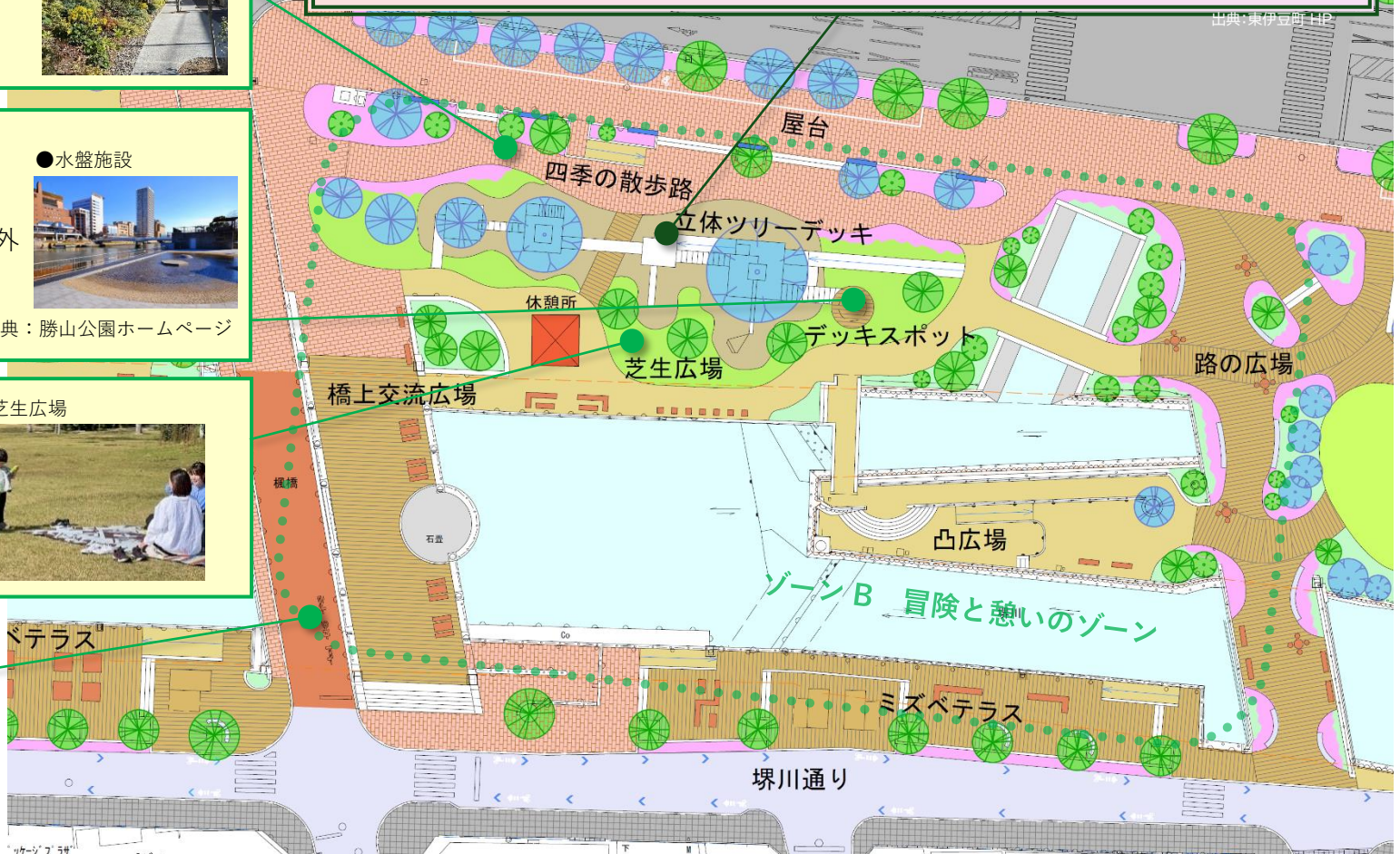


出典：東伊豆町ホームページ



出典：真庭市ホームページ

出典：東伊豆町HP



⑤ トライアル（余白）のゾーン

四季を通じて季節の変化を楽しめる

四季の散歩路

- 散策路
- ・ 花木・香木や紅葉樹木など
- ・ 四季を感じる植栽
- ・ 景観に調和する舗装
- ・ 健康遊具の設置



ハレとケで多目的に利用できる
トライアル広場

- ・ 日常・非日常の利用ができる余白の空間
- ・ キッチンカーや野外ステージの設置などイベント空間として利用可能
- ・ スケートボードなどのアウンスポーツやドッグランなど仮設物による実証の場として利用可能

● イベント利用



● 仮設物による利用



出典：（一社）KURE-PERS

蔵本通りと堺川通りをつなぐ
花見橋筋

- ・ 車道の美装化
- ・ 横断歩道の設置

まちなかの小さな丘
ヒマラヤスギ広場

- 芝生の丘とベンチ
- 野外ステージ
- ・ 芝生の丘
- ・ ベンチ等の設置
- ・ 野外ステージ利用など



⑥ 文化・芸術, 学びのゾーン

学びの拠点, 図書館の前庭 学びのゲート広場

- ・中央図書館や蔵本通りとの一体性の確保
- ・植栽の木陰となるようにベンチ・テーブルの設置

●木陰の滞在空間



静かにまちを楽しむテラス サイレントテラス

- ・可動式の屋根や川を望むテラス席の整備
- ・ラインライトの設置

●テラス席



木漏れ日の下でゆっくりくつろぐ 木漏れ日広場

- ・木陰へのベンチ・テーブルの設置
- ・道路からの音を遮断する緩衝緑地の整備(樹木密度の向上)
- ・コモンズ HUB や図書館と連携した展示など

●アート展示



出典：厚木市ホームページ

創造の拠点, コモンズ HUB の前庭 創造のゲート広場

- ・コモンズ HUB や蔵本通りとの一体性の確保
- ・ベンチ・テーブルの設置
- ・植栽の再配置
- ・蔵本通りとフラットな空間

●木陰の滞在空間



●道路と一体的な公園



文化・芸術活動を通じた創造性を育てる交流拠点 コモンズ HUB

(まちなか交流拠点)

- ・パークマネージャーの在駐(管理事務室)
- ・貸出可能なフリースペース
- ・アーバンライブラリー(壁面本棚等の図書館のサテライト機能)
- ・パーソナルモビリティスペース
- ・観光・周辺エリア等の情報発信拠点
- 交流スペースのイメージ (KIITO (神戸市))

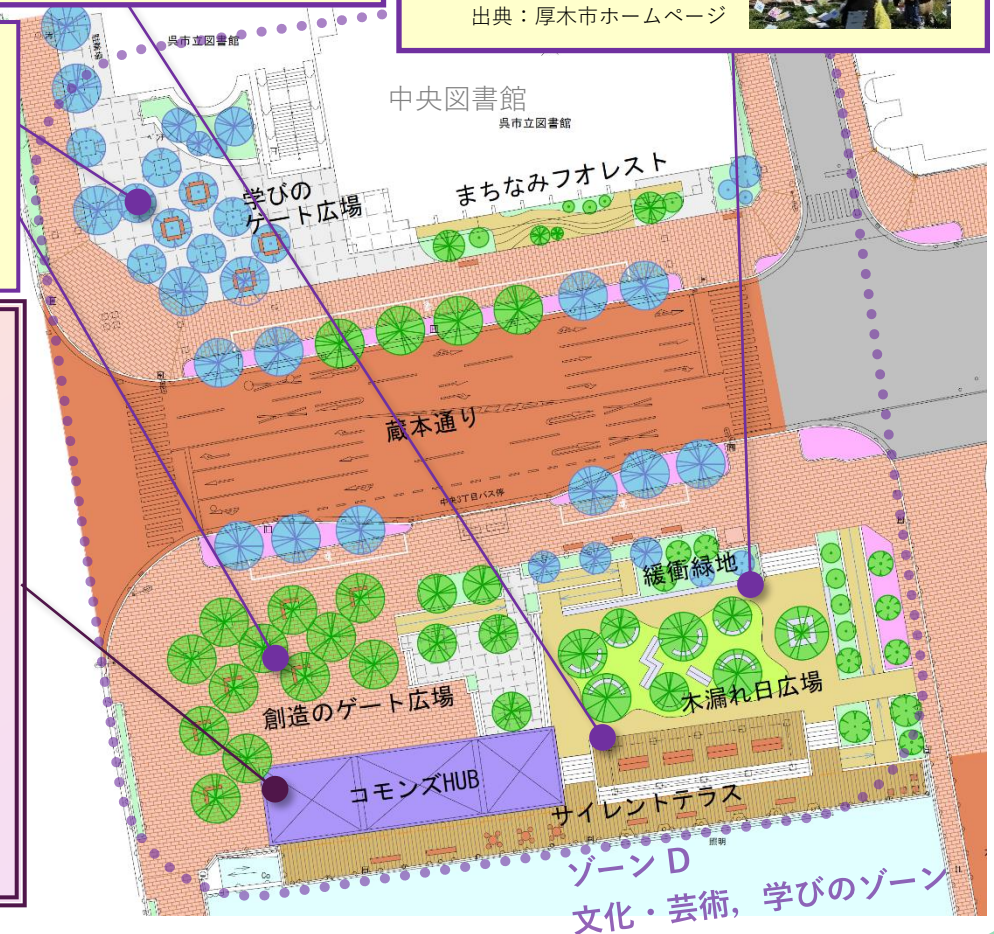


(飲食機能)

- ・カフェ・レストスペース
- 飲食機能のイメージ (東遊園地 (神戸市))



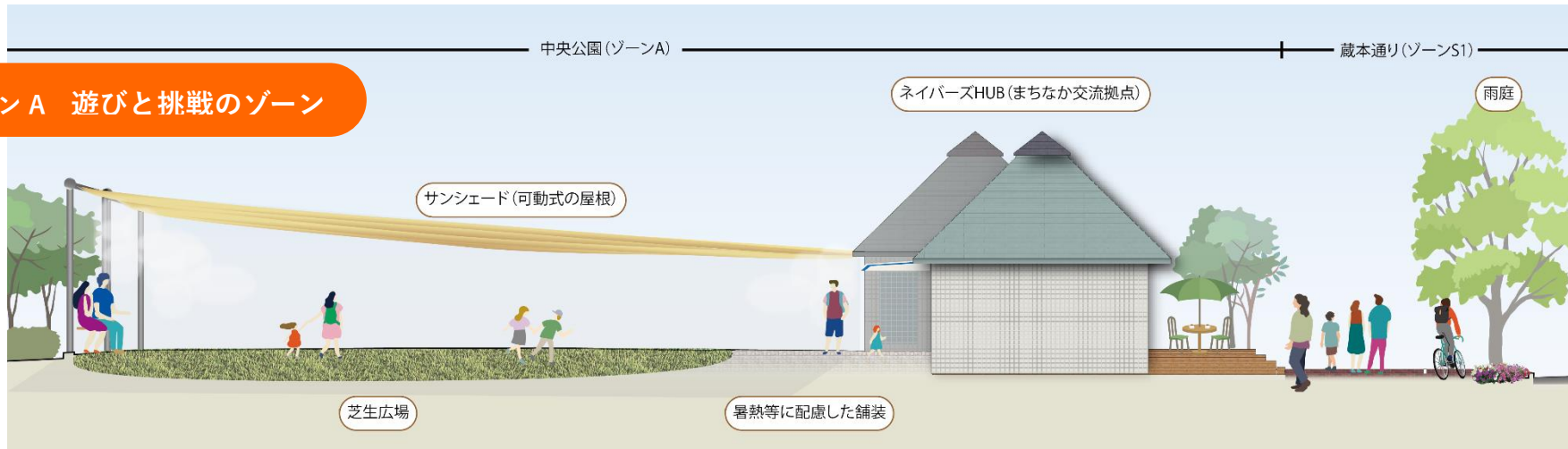
- アーバンライブラリー (東遊園地 (神戸市))



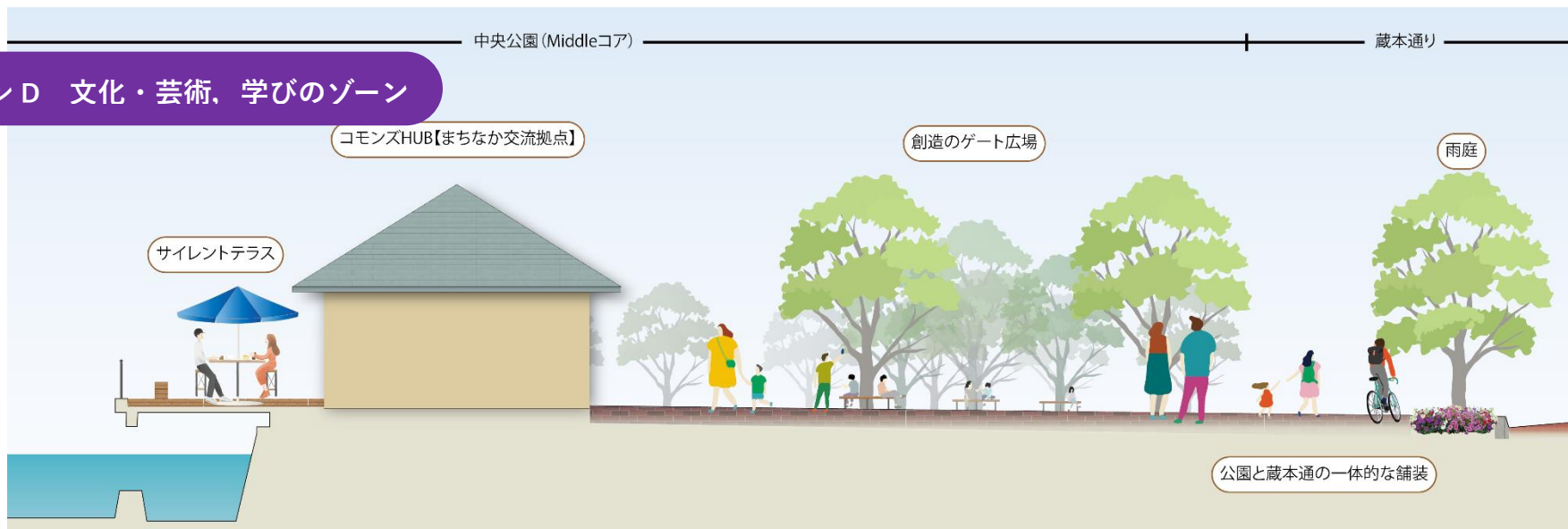
⑦ 断面図 (道路・公園・河川の関係性)

- 蔵本通りと中央公園の一体性を確保するため、道路と公園の境界部の植栽の見直しや動線に配慮した出入口を確保
- 堺川に開いたテラス空間を確保するなど川沿いの滞在を誘導する施設配置

ゾーン A 遊びと挑戦のゾーン

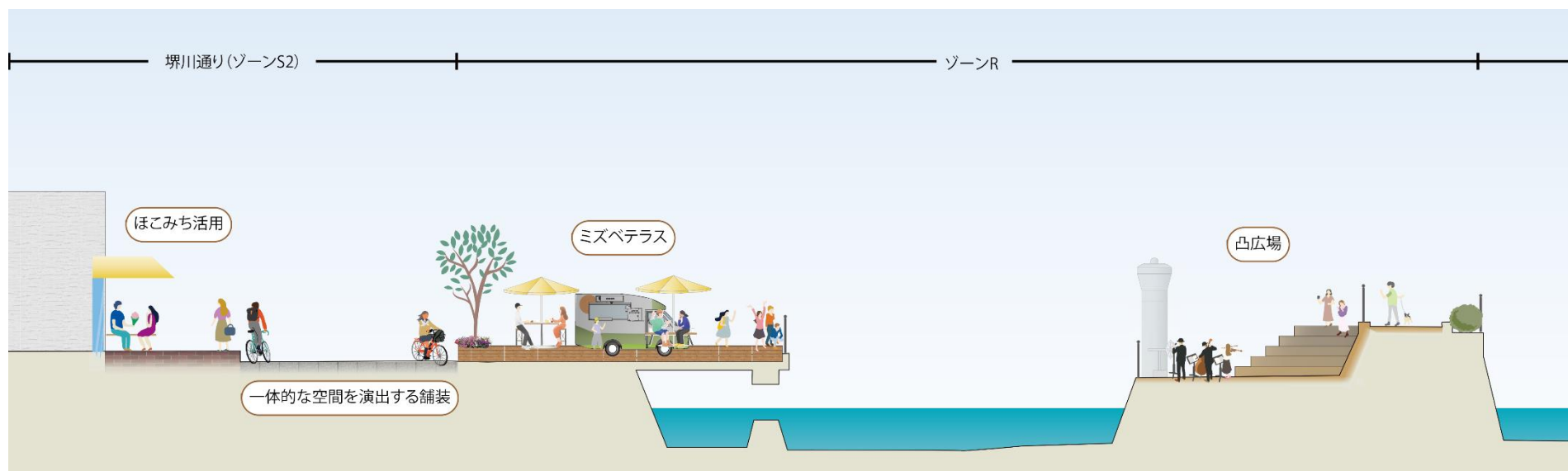


ゾーン D 文化・芸術、学びのゾーン



- 堺川に開いたテラス空間を確保するなど川沿いの滞在を誘導する施設配置
- ほこみち制度の運用を想定した歩道の拡幅や川沿いのテラス空間など商店街エリアから川沿いへの界隈性の滲み出しを誘導する施設配置
- 凸広場とミズベテラスの利用によって川を中心とした賑わいの創出を誘導

ゾーンR ミズベノバゾーン



(3)-2 個別の施設等の方針

① 舗装に関する方針

蔵本通りや中央公園においては、れんがを基調とした都市景観を形成しています。このまちなみの維持を基本として、バリアフリーへの対応などの安全性や各ゾーンの使い方との調和、心地よさ等に配慮した舗装材料を選定します。また、近年の気候変動に対応するため、暑熱対策に配慮した舗装材料の使用を検討します。

●れんがを基調とした景観形成



●使い方に調和した舗装材（左からゴムチップ舗装（九号通り公園（渋谷区））、ウッドチップ舗装（南池袋公園（豊島区）））

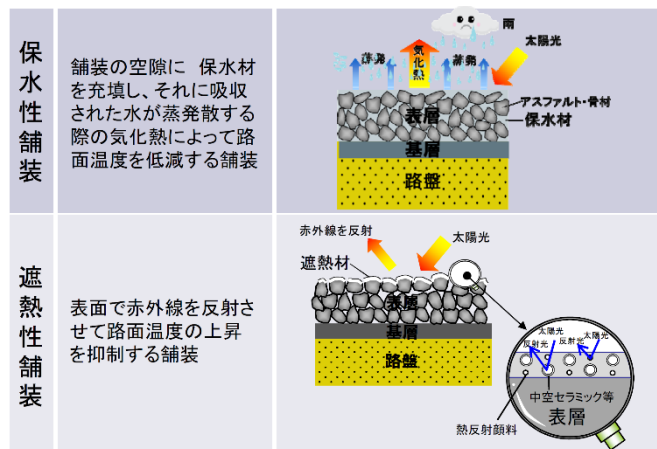


出典：渋谷区資料

●心地よさを演出するデッキ舗装（東遊園地（神戸市））

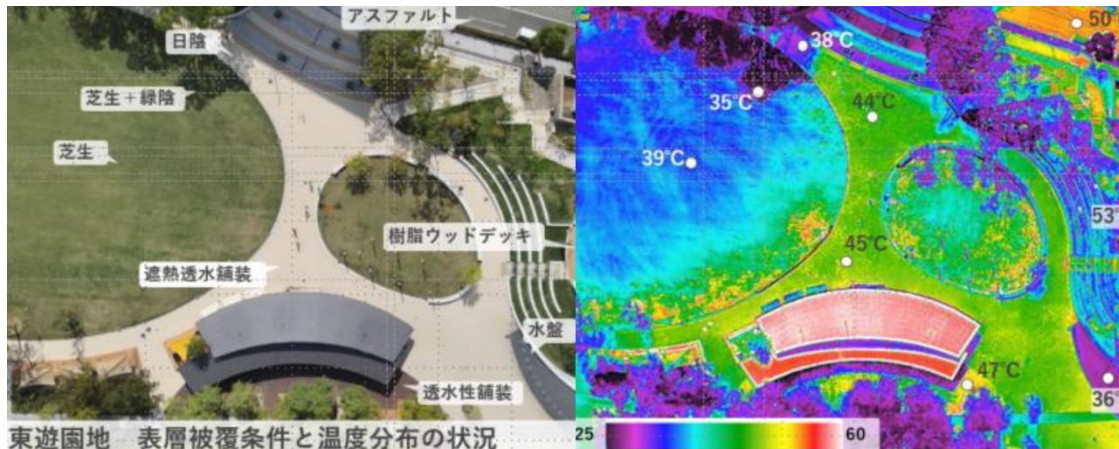


●路面温度上昇抑制機能を有する舗装技術



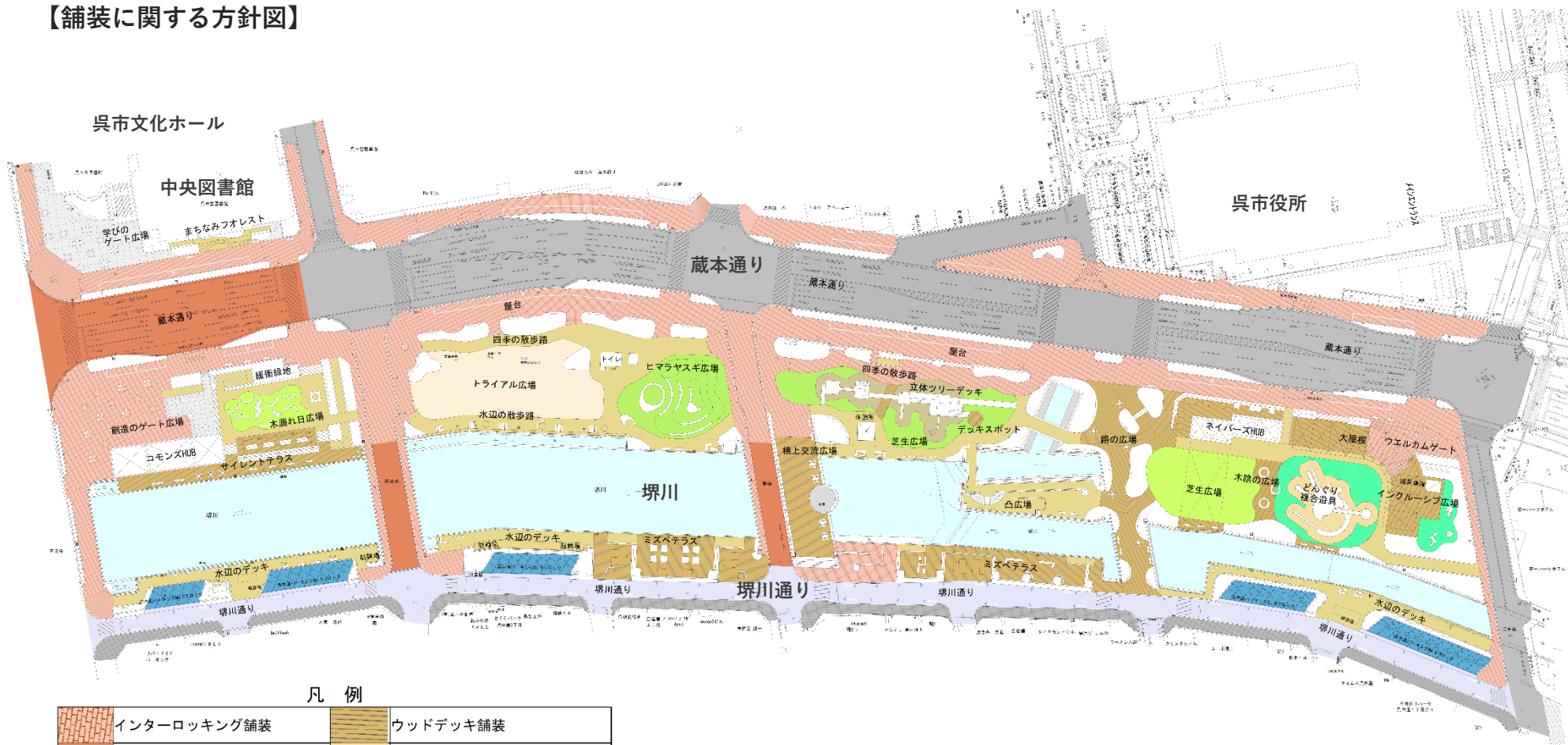
出典：国土交通省資料

●遮熱性舗装の効果の例（東遊園地（神戸市））



出典：神戸市資料

【舗装に関する方針図】



凡例

	インターロッキング舗装		ウッドデッキ舗装
	ストリートプリント		ゴムチップ舗装
	アスファルト系 半たわみ性舗装		ウッドチップ舗装
	タイル舗装		人工芝
	遮熱性舗装		天然芝
	アスファルト舗装 (現況)		土舗装 (現況)
	カラーアスファルト舗装 (現況)		

※設計において安全性や機能性、景観形成の視点等から詳細な舗装材料の選定を行います。

② 植栽に関する方針

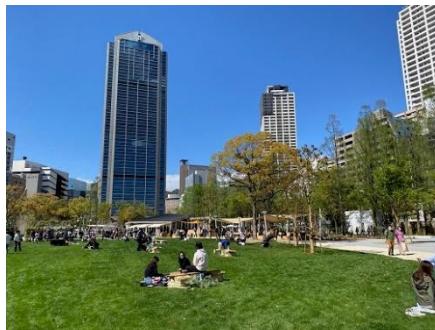
まちなか公共空間は、蔵本通りのイチヨウ並木や中央公園のメタセコイヤなどの大木、海へと続く堺川などによって、当市のシンボルロードとなる緑道を形成しています。この緑道を未来につなぐことを基本として、植樹や芝生化による癒やしや心地よさの創出、木陰や緑地の創出による暑熱対策、雨庭の整備など雨水浸透の機能の確保、街路樹や植栽の重点的な育成などによる観光・交流の促進、これらの取組による生きものの住処の保全などグリーンインフラとしての機能強化に取り組みます。

また、蔵本通りと中央公園の一体性の確保に向けた中低木の配置の見直しなどに取り組みます。

●緑道の形成



●植樹や芝生化による心地よさの創出（東遊園地（神戸市））



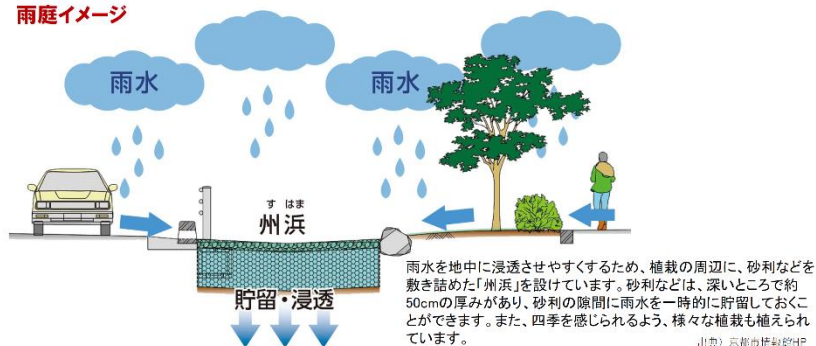
●木陰の確保（呉市中央公園）



出典：神戸市資料

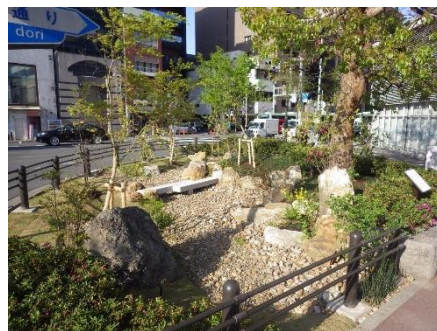
●雨庭（京都市）

雨庭イメージ



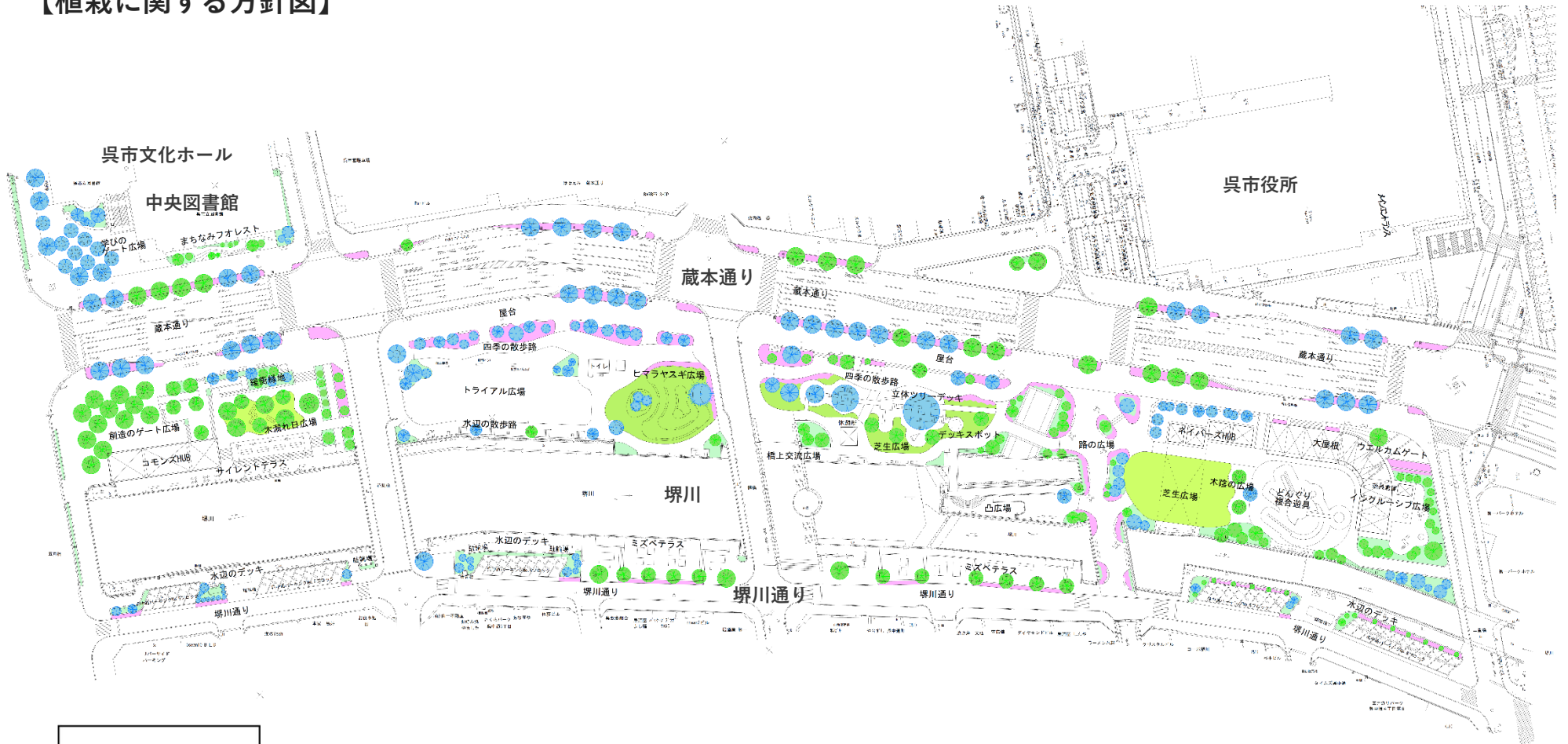
出典：京都市資料

●観光地となっているケヤキ並木（仙台市）



出典：仙台観光国際協会

【植栽に関する方針図】



凡例

- 既設樹木
- 新設樹木

※樹木の配置について設計において再度詳細な検討を行い、既存樹木の残置や移植を含め検討を行ないます。また、新植に当たっては、成長後の樹形・大きさに配慮した配置や季節に応じて木陰や木漏れ日を確保できるような樹種の選定を検討します。

③ 照明に関する方針

デイタイムのみならずナイトタイムにおいても多様なシーンを生み出すことを念頭に、防犯や安全性に配慮した照明計画を基本として、ひとけを感じられる安心した空間形成を図ります。また、空間を演出するラインライトやライトアップなどに取り組み、まちなかの夜間景観の創出や滞在機能の強化を図ります。また、新たな照明設備の導入に当たってはLED化や太陽光発電などによる省エネルギー化を図ります。

●空間を演出する照明（左から都立明治公園（新宿区），いろは親水公園（志木市），東遊園地（神戸市），橘ふれあい公園（香取市））



出典：株式会社風憩セコロホームページ

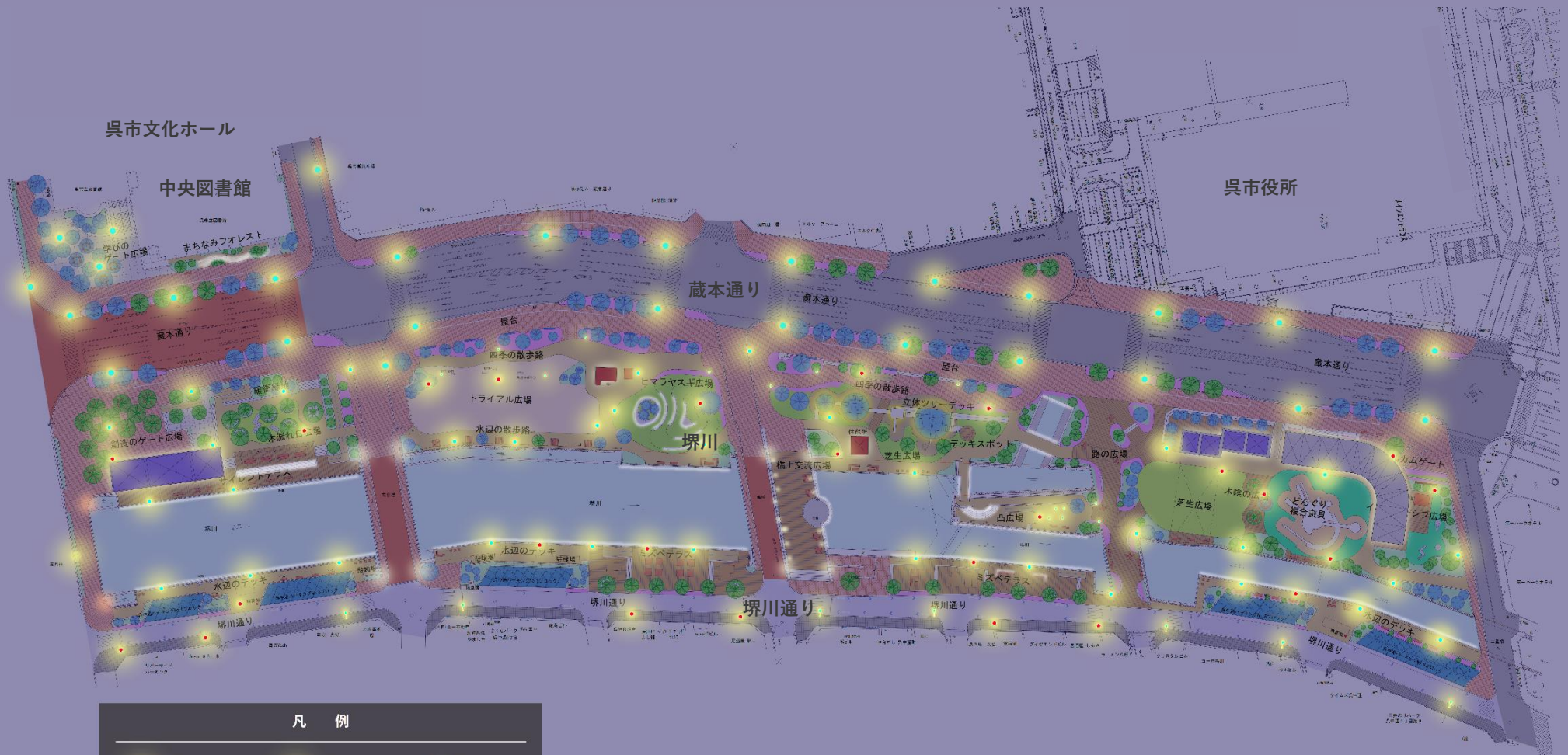


出典：株式会社コトブキホームページ

●ナイトタイムの利用シーン（呉市中央公園）



【照明に関する方針図】



凡 例					
●	照明灯 (既設)	●	照明灯 (新設)	●	ガス灯
■	建物照明		ラインライト		アップライト

※設計において再度詳細な検討を行い、安全性に配慮した照明計画とします。

④ HUB 及び飲食機能の整備, 管理・運営に関する方針

HUB 機能及び飲食機能について, 次のとおり整備及び管理・運営について検討を進めます。

対象施設	ネイバース HUB (ゾーン A) ＜まちなか交流拠点＞	コモンス HUB (ゾーン D)	
		＜まちなか交流拠点＞	＜飲食機能＞
整備目的	市民等の遊びや挑戦を支援する交流拠点として整備・運営	文化・芸術活動を通じ創造性を育てる交流拠点として整備。(管理・運営の事務所, 観光等の情報発信を兼ねる)	まちなか公共空間での滞在や交流を促進するために飲食機能を整備
運営のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の貸出等による多様な遊びの誘発 ・空間内での様々なチャレンジの相談や調整窓口 (パークマネージャー) ・周辺エリアの情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術活動の展開 ・公園の管理・運営事務 ・観光や周辺エリアの情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食サービスの提供
整備形態	既存の売店建物のリノベーション RC造平屋 (昭和62年建築 (148.9㎡, トイレ 32.8㎡))	新築	新築
想定するスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・パークマネージャーの在駐スペース ・フリースペース (貸出可) ・売店・軽食の提供スペース ・組立屋台など備品等の収納倉庫 ・トイレ 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の管理事務所 ・ワークスペースや作品等の展示スペース, フリースペース (貸出可) ・アーバンライブラリー ・組立屋台など備品等の収納倉庫, ・パーソナルモビリティのスペース ・トイレ 	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ・レストラン等の飲食スペース
想定規模	約 150 ㎡※今後必要面積等を再検討	約 200 ㎡※今後必要面積等を再検討	
整備及び管理・運営の手法	Park-PFI 制度の活用等による施設整備や HUB・飲食機能を含む公園施設の指定管理による管理・運営など官民連携による整備及び管理・運営の検討を進める。		

(4) デザイン・設えの方針

デザイン計画に掲げる四つの視点を踏まえ、施設整備等に当たって、次のとおり取り組みます。

視点① 呉を体感するデザイン

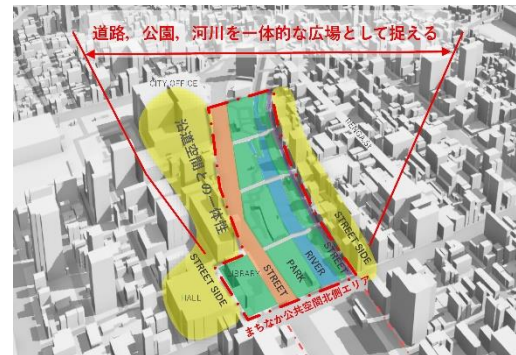
視点③ 沿道や周辺地と一体性を高めるデザイン

視点② インクルーシブなデザイン

視点④ 古きを生かし新たな価値を創造する

方向性1 空間の一体性を生むデザイン

まちなか公共空間は、道路や公園・河川で構成されており、これらを一体的な広場空間と捉えたデザインとします。また、共通サインなどのデザインの統一や沿道空間との一体性を考慮したデザインとします。



●沿道との一体性の確保
(出雲市神門通り)



出典：ストリートデザインガイドライン (国土交通省)

方向性2 呉を体感できるデザイン

既存の「れんが」を基調とした素材や色彩のデザインを基本として、呉のまちなかのランドマークとなるようなデザインを追求します。



●呉を体感するデザインのイメージ

出典：(一社) KURE-PERS 資料

方向性3 インクルーシブで使い方に調和したデザイン

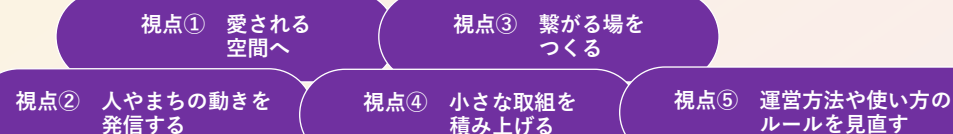
施設のバリアフリー化などインクルーシブなデザインとするとともに、各エリアのコンセプトや使い方と調和したデザインとします。

●(左) インクルーシブなデザインの遊具、
(右) 子どもトイレ
(廿日市市多世代活動交流センター)



(5) 空間のマネジメントの方針

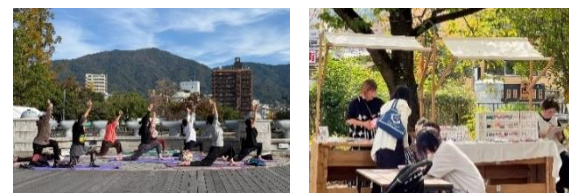
デザイン計画に掲げる五つの視点を踏まえ、管理・運営等に当たって、次のとおり取り組みます。



方向性1 「使う」ことを育てる

市民等が主体的・能動的にまちなか公共空間を使うことを支援するため、使用に関する手続きの見直しやプレーヤーの発掘・ネットワーク化、社会実験などによる新たな使い方の検証などに取り組みます。

●市民等による使用（社会実験時の様子）



方向性2 新たな運営手法の導入

堺川沿いの中央公園について、存置する左岸側の駐車場を含め指定管理制度の導入を検討します。導入に当たっては、公園施設の維持管理業務に加え、滞在や交流を促すための運営担当者の配置などを取り入れることを検討します。

蔵本通りや堺川通り、堺川の空間の利用に当たり、ほこみち制度の活用や河川空間のオープン化の手続きに取り組みます。

方向性3 アクティビティのレイヤーを生む

空間内において、ハレとケ、デイトタイムからナイトタイムといった時間による利用の多様化、また、ゾーンコンセプトを超えた空間の多用途な利用を進めることで、多様な人の交流や滞在を図ります。

●（上）昼間の滞在、（下）夜のイベント

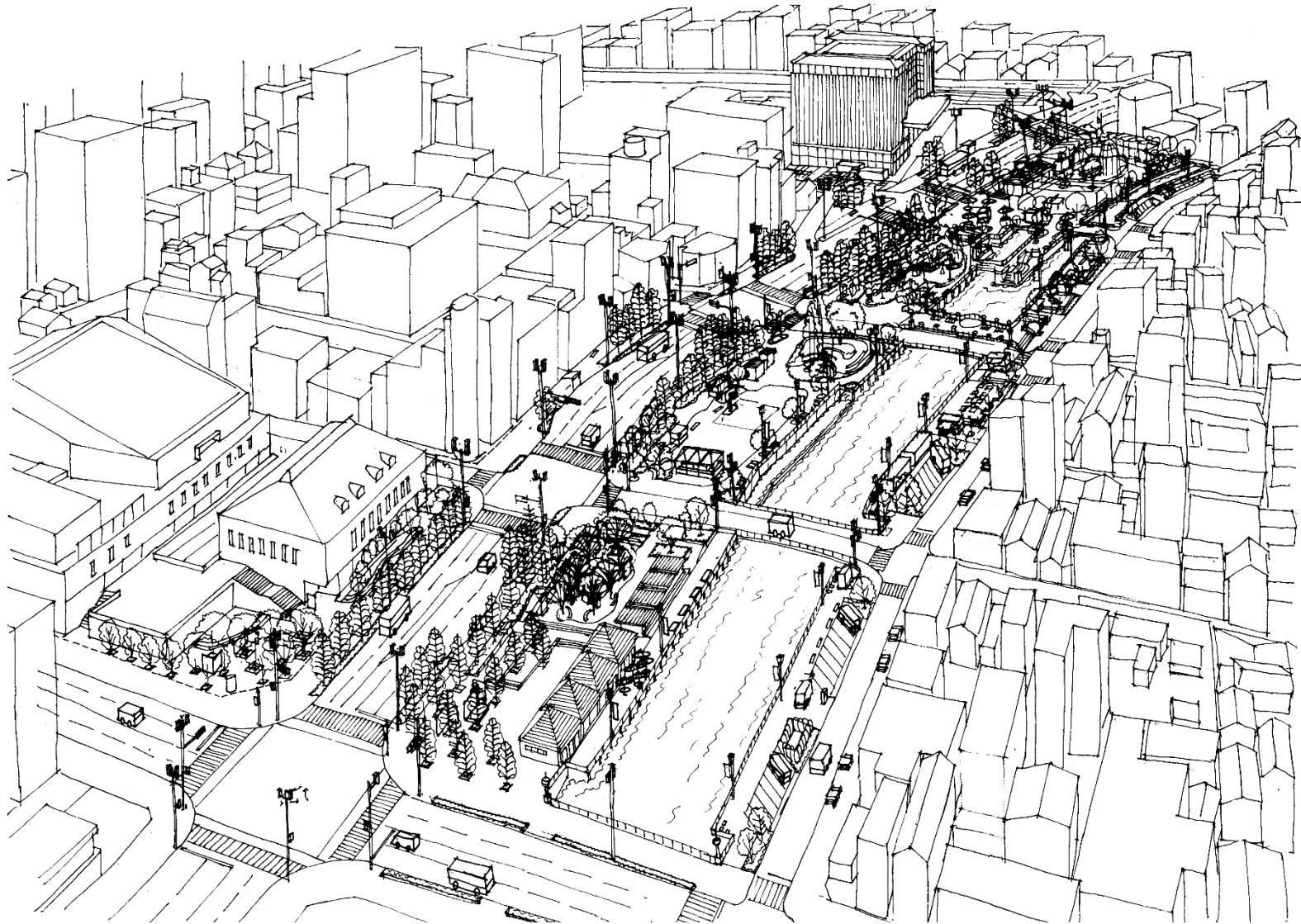


方向性4 情報発信力の強化

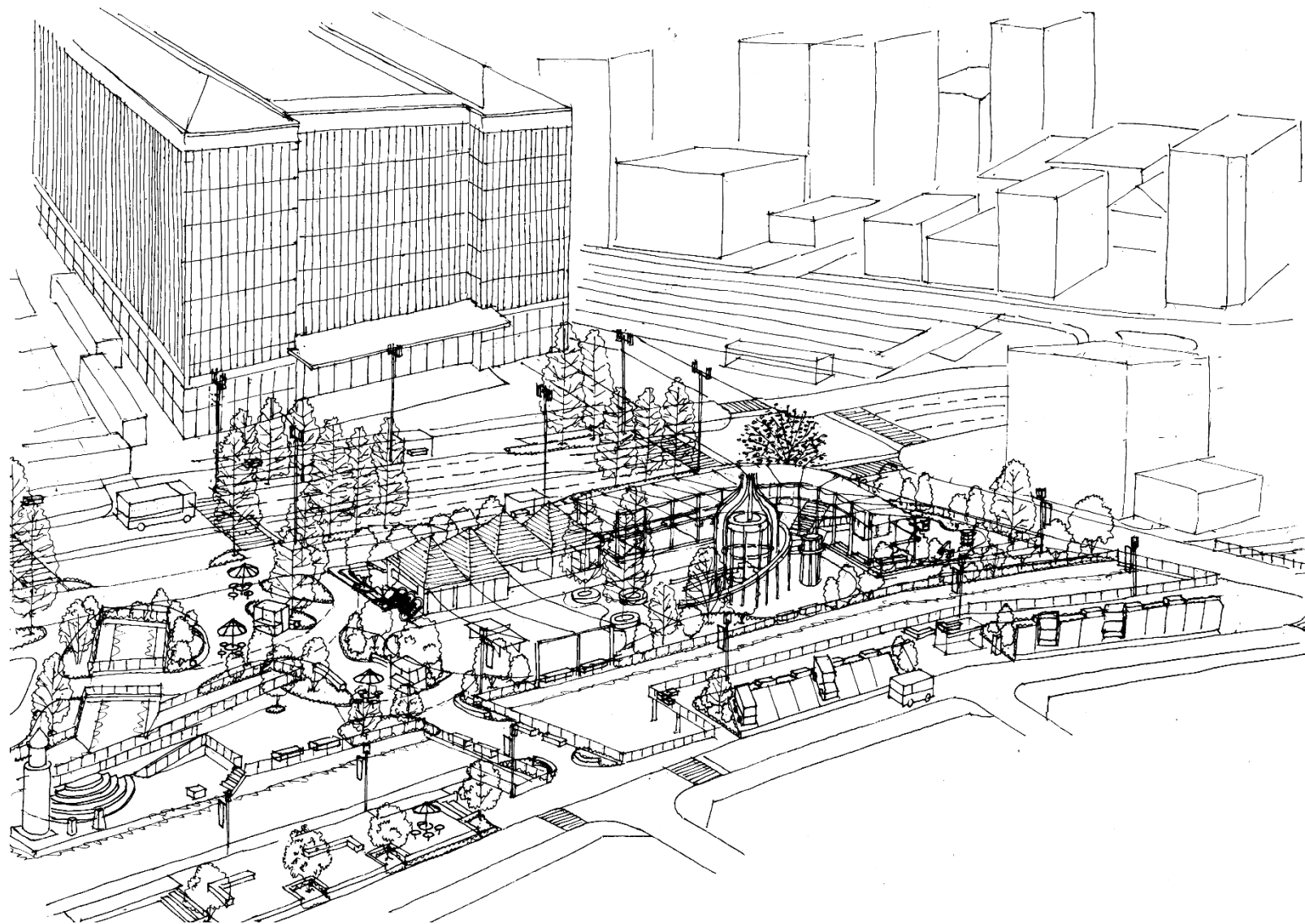
公園や近隣エリアの施設案内・イベント情報、また、まち・歴史・自然・生きものなどについて学びを深める情報など、まちなか公共空間を始めとしたまちなかエリアでの交流や滞在を促し、人の流れを創出するための情報発信に取り組みます。情報の発信に当たっては、ハブとなるメディアを開設するとともに、現地での情報発信やSNSの活用など多様な媒体による情報発信に取り組みます。

(6) イメージパース

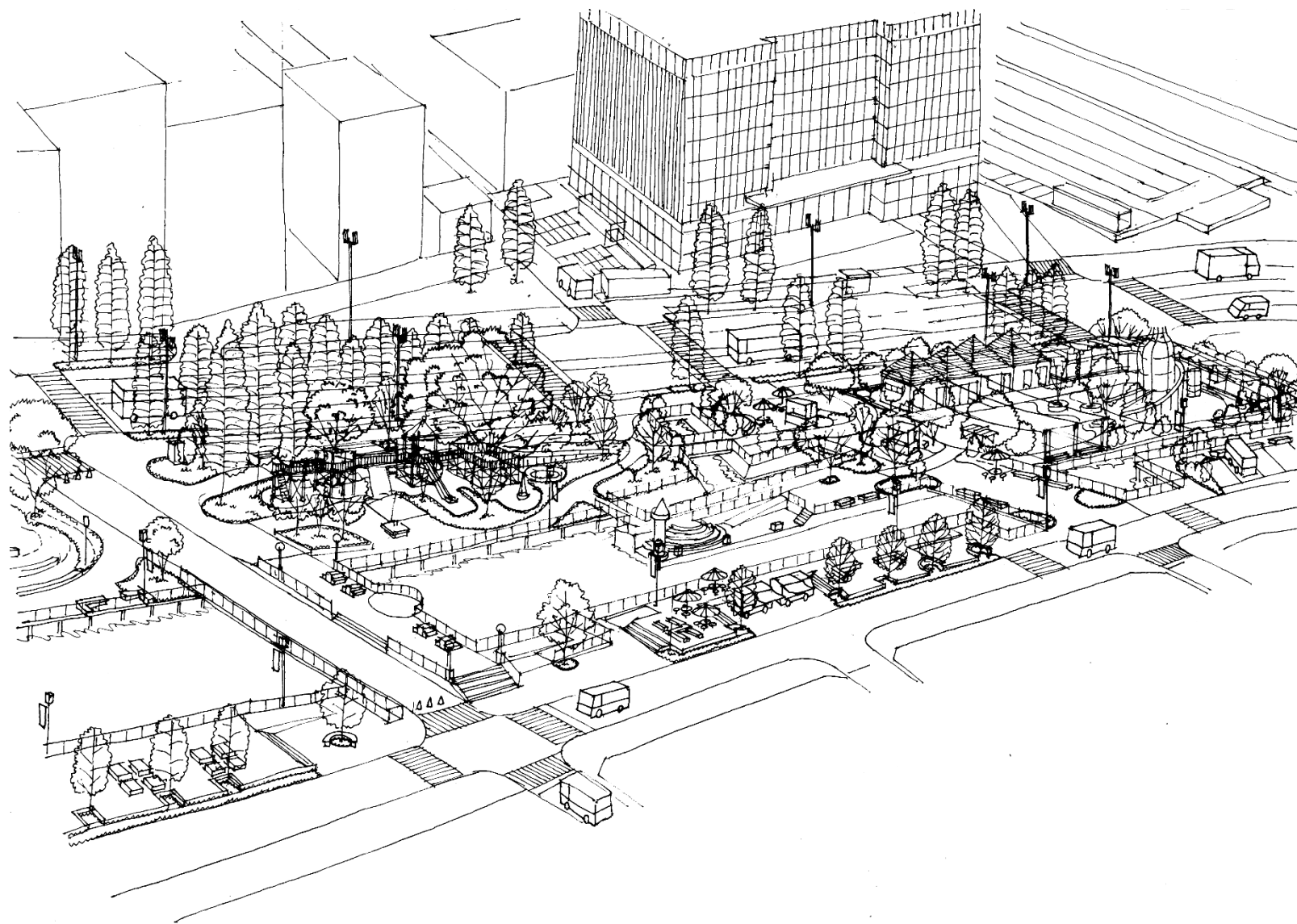
※今後着色を行います。



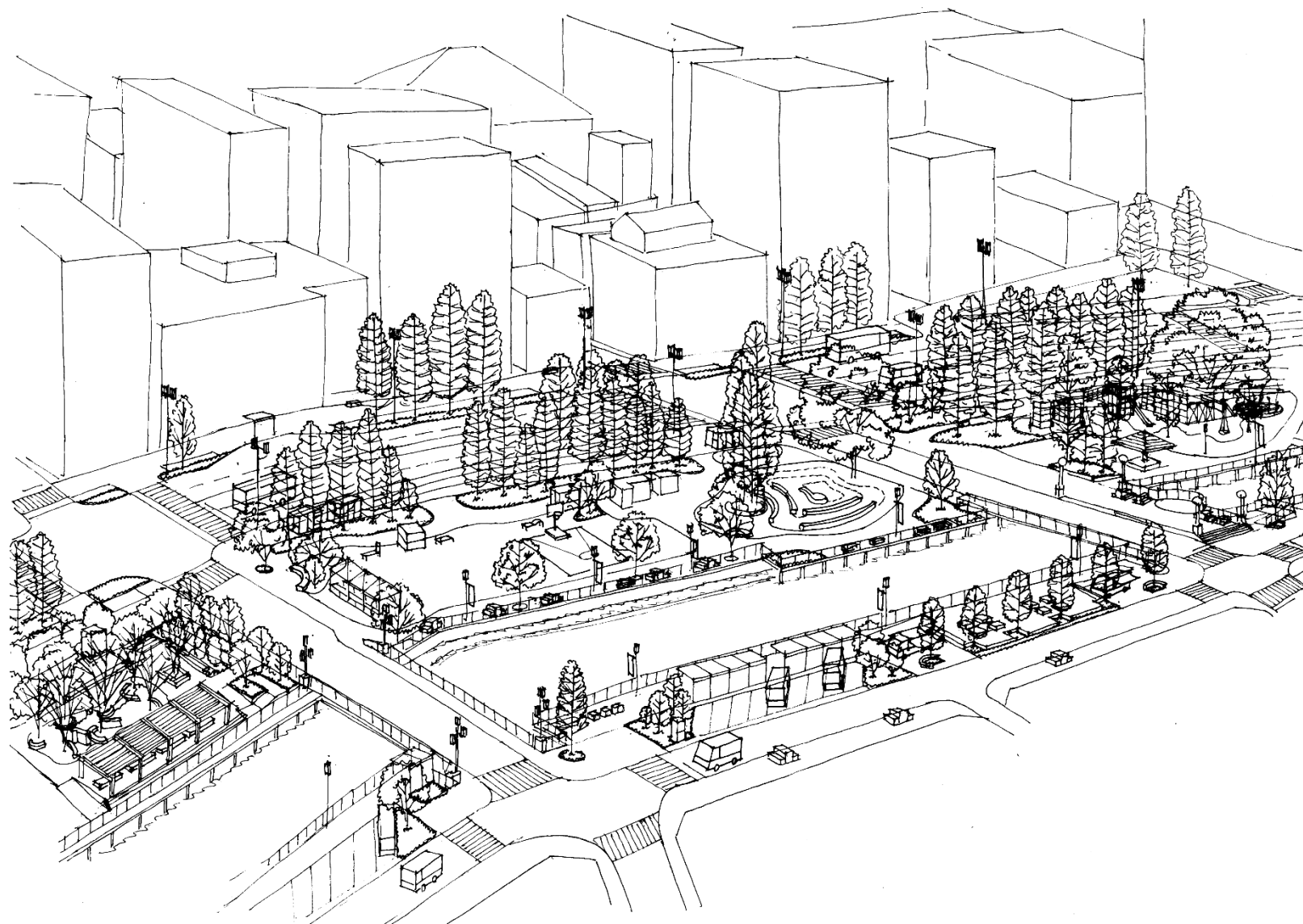
ゾーン A 周辺



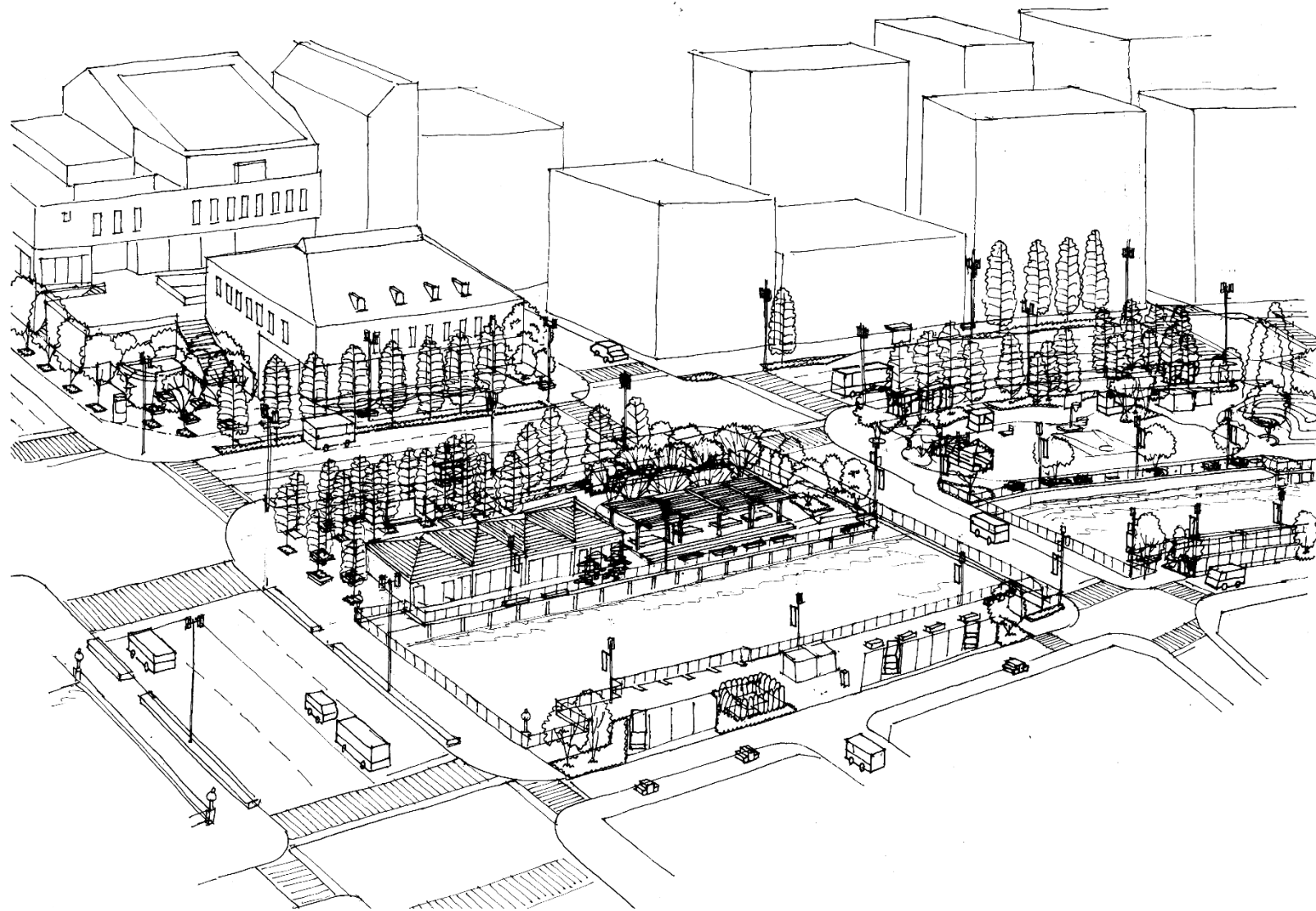
ゾーン B 周辺



ゾーンC周辺



ゾーンD周辺



卷末資料

巻末資料

(1) 呉市まちなか公共空間社会実験で得られた知見

**OH!! GOOD
KURE OURS**

呉市まちなか公共空間社会実験



▶
詳細は
こちらから
(呉市ホームページ)



呉まちなか公共空間デザイン計画で定めるこれからのまちなか公共空間の新しい使い方の効果や課題を検証するとともに、まちなか公共空間を舞台とするプレーヤーの発掘や関係者の繋がりを創出するため、令和6年10月11日（金）から11月10日（日）までの期間で社会実験を実施しました。

- ・滞在を促す空間づくりやチャレンジ環境の創出等によって、滞在を促すとともに、日常生活の営みの充実感が増すなど暮らしの豊かさを実感する兆しが見られる。
- ・起業等に向けたステップアップや空間内における消費活動、商店街等の周辺エリアへの回遊など地域経済への効果も期待できる。
- ・新たな出会いや繋がりが生まれるとともに、まちづくりに参画することへの意識の醸成と新たな取組への展開が見られた。
- ・社会実験で実施した取組は利用者からの評価が高く、実装していくことが求められている。

(2) 呉市まちなか公共空間デザインワークショップでの提案

THINK
the FUTURE

呉市まちなか公共空間デザインワークショップ

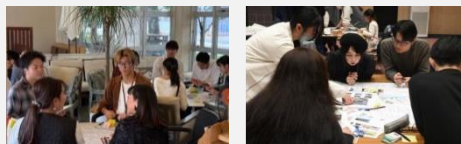


▶
詳細は
こちらから
(呉市ホームページ)



呉まちなか公共空間デザイン計画を実現していくために、リーディングエリアとなる北側エリアを対象として、新たな導入機能や施設配置を検討していくデザインワークショップを令和6年10月から翌年1月までの間に計3回開催しました。

- ・三つのグループから、まちなか公共空間の未来の姿となる基本デザインの提案をいただきました。



(3) 呉まちなか公共空間デザイン会議

まちなか公共空間を人中心のウォークアブルな空間として再構築していくに当たり、学識経験者等から幅広く意見を求めるとともに、ともにまちづくりを推進していくため、呉まちなか公共空間デザイン会議を設置しています。基本デザインの策定に当たり、会議において意見交換を行っています。(第5回会議～)

呉まちなか
公共空間
デザイン会議

▶
詳細は
こちらから
(呉市ホームページ)



呉まちなか公共空間 基本デザイン

呉まちなか公共空間基本デザイン
北側エリア North Zone~Middle Zone
令和8年5月 呉市

呉市土木部土木総務課
〒737-8501
広島県呉市中央四丁目1番6号
TEL (0823)25-3367